大学院生

※申請書及びスカラネット入力確認用

レ点をつける	以下の順に並べる	レ点をつける	
□	日本学生支援機構奨学金申込者票	□	希望する奨学金が（1）から（11）、（13）、（14）のうち１つ選択されている
□	確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書	□	本人欄は、必ず本人が直筆で記載している
		□	学部・課程・分野に**修士、博士前期、博士後期、３年制博士、一貫制博士、医学博士のいずれか**記載されている
		□	学科・専攻・研究科に所属名(学術院名)が記載されている
		□	住所欄に**現住所**が記載されている
		□	訂正がある場合は二重線を引いて余白に正しく記入している（修正液・修正テープは不可）
		□	確認書が提出され、上記確認事項を満たす
□	収入計算書	□	前年用（2023年1月～12月）は全員記入　収入に変動がある場合は本年見込（2024年1月～12月）も記入　1万円未満切り捨て
		□	収入額「奨学金」 **今回申請する日本学生支援機構の奨学金の金額は含めない**
		□	収入額「父母等の給付額」 給付者氏名に自署してもらうこと
		□	収入額「その他の収入」に記入する場合、通帳のコピー（直近３か月分の記帳部分と口座名義人の部分）などの証明を提出する
□	所得に関する書類	□	収入に関する証明書類　「収入計算書」記載金額の根拠となる必要書類を提出（奨学金案内Ｐ27から30参照）
□	スカラネット入力下書き用紙 □　Ａ４片面でコピーし、ページ順にホチキスで綴じたものを1部提出	□	氏名・学籍番号・研究群の専攻コードが記載されている。
		□	Ｂ欄 氏名（漢字・カタカナとも記載がある。）
		□	Ｃ欄　希望する貸与奨学金をどれか１つ選択　選択されているのは、申込者票と同じ番号である
		□	Ｄ欄　(7)昼を選択している　（東京キャンパス夜間大学院の方は夜に変更）
		□	Ｄ欄　(10)修士・前期課程は2年0ケ月、後期・３年制課程は3年０ケ月、一貫制課程は５年０ヶ月、医学課程は４年０ヶ月
		□	Ｅ欄　1.(2)所得連動返還方式を選択した場合は、保証制度は必ず「機関保証」に加入
		□	Ｅ欄　1.(4)基金設置団体から「地方創生枠」として推薦されている人は「はい」を選択
		□	Ｅ欄　2.(2)第二種は2024年4月～9月を選択 入学時特別増額貸与希望者は2024年4月を選択
		□	Ｅ欄　4.第二種希望者または第一種のみ希望だが入学時特別増額貸与を希望する者は、どちらか選択
	・貸与奨学金案内P17～２１をよく読み、条件を満たす人に依頼すること ・機関保証から人的保証には変更できないので注意すること	□	Ｇ欄　保証制度をどちらか選択している。
		□	Ｈ欄　1.(4)住民票に記載されている住所であること
	G-保証制度(1)を選んだ人	□	Ｈ欄　2.「本人以外の連絡先について」が記載されていることを確認
	G-保証制度(2)を選んだ人	□	Ｈ欄　3.連帯保証人・保証人とも住所は**印鑑登録証明書**に記載された住所であることを確認
		□	上記の連帯保証人と保証人には承諾がとれている（貸与奨学金案内Ｐ18～20参照）
		□	Ｉ欄　基本的に前年の収入のみ入力　本年見込の収入に変動がある場合はどちらも入力
		□	Ｊ欄　1と2は全員記入　3は修士・博士前期課程1年生は記入不要 この欄の記入は別紙に書いて添付でも可(パソコン等)
□	口座の開設・通帳等のコピー	□	Ｌ欄　銀行・ゆうちょ銀行どちらか選択 通帳の口座名義人・店番・口座番号・支店名等を確認し、コピーを貼付すること
□	成績証明書（原本）	□	申込者票の裏面の学業成績の表に記入してください ※成績証明書の提出は新入生のみ。 修士・前期課程1年生は学部・学群時の成績、後期課程1年生は前期課程の成績
□	返信用封筒（郵送での提出の場合）	□	長3サイズの封筒に自分の住所・氏名を記入し、84円切手を貼付したもの

※本チェック表は必要な書類、記入事項の確認のためのものであり、その全てを網羅したものではありません。